



新園舎落成式・祝賀会



平成 30 年 6 月 3 日 (日)
社会福祉法人 温和会

まほろば保育園



あいさつ
理事長 阿嘉よね子

当法人「まほろば保育園」新園舎落成にあたりご挨拶を申し上げます。平成 15 年、待機児童解消の取り組みとして厚生労働省に基づいた県の認可移行推進を受け、社会福祉法人温和会を設立。平成 29 年今帰仁村立仲尾次保育所の老朽化に伴い、民設民営化により、その運営を当法人が引き継ぎ、この度、「保育所整備事業費」として国及び村の補助を受けて、新園舎創設の運びとなりました。旧園舎兼次中学校の運動場で、千坪の広大な緑なる芝生が生い茂り、何万の赤とんぼが飛んでいるのを目にしたときに「ああ！なんて美しい場所！この素晴らしい自然の中で保育がしたい！」あの時の感動は今でも忘れません。美しい場所。住みよい場所、「まほろば保育園」を命名した由縁です。

平成 30 年 4 月から、新幼保連携型認定こども園教育・保育要領が施行されました。それに伴い日本の教育は、大きく変わってきます。今までの認知能力「(知能指数)を高める教育」から「非認知能力」(心の知能指数)を高める教育に変わってきます。その観点からも素晴らしい環境の中で豊かな感性と高度な感覚を培ってほしい！という希望のこなった新園舎『まほろば保育園』を創設し、4 月 1 日より園生活がスタートしました。保護者、地域、行政との絆を大切に「愛のまほろばで心豊かに育つ」を保育理念に邁進していく所存であります。今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





まほろばとは「素晴らしい場所」
「住みよい場所」という意味の
日本の古語

『心のまほろば』

理事長 阿嘉よね子

土とたわむれ 風を感じ
お日様やお月様に守られた

このまほろばの里で

僕は生まれ育つ

遠くには鳥のさえずり 川のせせらぎ

潮騒が

美しき天然の愛の歌をうたって

僕の心を優しく包んでくれる

春には桜 夏はスイカ 秋はトンボ

冬は 一年の心の汗を拭きとってくれる風が、

僕を感性の世界へと導いてくれる

感性の世界では

今帰仁の優しき人々が笑顔の花を

いっぱい咲かせて

僕が育つていく喜びの歌を唄い

僕を優しくたくましく育ててくれる

今帰仁のこの美しき天然の地は 僕に

生きることの素晴らしさを

教えてくれる心のまほろばである

僕は 大きくなったら

たくさんの人を 今帰仁のまほろばの里に招き

生きることの喜びを教えてあげたい

子ども達に、是非提供したい空間を、文面を添えて紹介

理事長より

子ども達を温かく迎える、癒しの空間



門から入るこの空間は、
「おはよう！」と花々が迎えて、
夕方はすずらんライトが「今日も
頑張ったね。さようなら！」と
子どもたちに語り掛けてくれる
場所であり、両親や祖父母に手を
引かれて通った保育園での思い
出づくりの空間です。



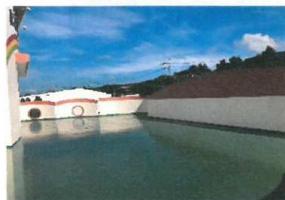
階段をのぼり見上げると
可愛らいうさぎとタツノ
オトシゴのスタンドグラス。
そして所々に琉球ガラスが
埋め込まれており、太陽の動き
により優しい光が差し込み癒
しの空間となります。

広々とした園庭



広々とした園庭には、沖縄の海の砂が敷き詰められ、子どもたちが思
いっきり活動でき、体力形成を目指します。足の裏には、脳を形成する
神経が集中しており、芝生をはだして駆け回ることにより脳を刺激し
て、頭脳形成を高めています。

子ども達の笑い声が広がる、のびのびとした遊び空間



2階テラスも子どもたちがごっこ遊びができるよう広々としたスペー
スがあります。青空の向こうには緑の山並みが見え、子どもたちの背の
丈に合わせた園庭を見下ろす覗き窓、スタンドグラスのうさぎ、タツノ
オトシゴも裏側からも見るができます。3輪車、プール遊び、水遊
びと笑い声が絶えない空間となります。